

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立島尻特別支援学校
校長 中山 充雄
(公 印 省 略)

令和5年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和5年12月12日付け教県第1744号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	令和5年7月4日	場所	県立島尻特別支援学校 大会議室	出席 状況	5名(全員出席)
第2回	日時	令和5年12月4日	場所	県立島尻特別支援学校 大会議室	出席 状況	4名(1名欠席)
第3回	日時	令和6年2月26日	場所	県立島尻特別支援学校 大会議室	出席 状況	4名(1名欠席)

2 学校評議員に求めた事項

1 本校教育活動等に対する意見聴取 (1) 学校経営方針(グランドデザイン)について (2) 各学部等及びゆい分教室における教育活動について (3) 教育支援、進路指導、環境整備、寄宿舍等における取り組みについて (4) 校内施設設備の目視確認及び学校給食の試食
2 学教評価の回答
3 学校評議員の意見

1 教育課題については各学年においてそれぞれ目標を定めて取り組んでいる。個別の課題に関しては本人が気づき実践を継続できる工夫を提案し、成長が実感できるよう内容を充実させてほしい。
2 進路指導では普段から社会で生きていくために必要な指導を積み重ねていくことが求められる。健康管理、生活管理、社会性、基本的労働習慣、職業適性等、必要とされる力をバラバラに積み上げるのではなく、崩れにくい土台を小中学部から積み重ねてほしい。
3 地域との連携について、お互いに上手くいっている事例の共有、他に生じている課題が無いのか知りたい。
4 高校卒業後を見据えて、小学部からの一貫したキャリア教育の必要性、挨拶や笑顔など。

4 学校運営に反映した事項

1 学校緑化の計画的取り組みの必要性
2 就労や卒業後の生活を見据えた在学期間を通した基本的生活習慣の定着 (組織的・継続的なキャリア教育の実践)
3 感染対策と学校行事の実施
4 児童虐待の防止と人権意識の涵養
5 本校の現状をふまえた働き方改革の推進
6 お便り以外に面談や座談会等をととした情報発信

5 課題その他

【次年度への課題として】
①教科別指導の成果と課題の整理、研修及び研究活動をととした教育課程の充実と専門性の向上。
②校内外における計画的・組織的な環境整備。
③学校として小中高一貫したキャリア教育の推進と、保護者と連携した進路指導による自立と社会参加を目指す。
④交流及び共同学習の充実及び特別支援学校のセンター的機能の発揮を通した地域連携の推進。